

まちの話題

パッカー車の火災訓練実施



▲消火器で初期消火にあたる職員

2月1日、ごみ収集車の火災に対応するための訓練が、市民共栄資源管理センター内で行われ、市内でごみ収集にあたる職員 37 人が参加しました。

訓練は、昨年6月～12月の半年の期間にカセットボンベなどの爆発が原因で4件の火災が発生していることを受けて行われたもので、消防署員らから消火器の使い方や火災が発生した場合の対処法などについて説明が行われました。

そして、幼稚園前や幹線道路でパッカー車から火災が発生したとの想定で訓練が行われ、作業員は初期消火を行ったり、幼稚園への避難を促す作業や周囲に人が少ない状況で消火活動にあたることなどを確認していました。

今年度には火災が4件と特に多く発生しており、ごみの分別についてのマナーが問われています。

窯焚き体験を行いました



▲窯の中に薪をくべる参加者

12月にものづくり講座の中で作った須恵器を2月13日に「古代体験館おごおり」内にある登り窯で講座参加者やボランティアが協力して焼き上げました。

須恵器は窯の中に階段状に並べて焼きます。三日三晩、薪をくべつつ、空気の通り道を作りながら徐々に温度を上げていき、最高 1,150 度に達します。

参加した皆さんは火の熱さに負けずに頑張りました。

その後、窯を閉じ、2月20日に窯開きを行いました。窯を開けていたふたを取ると、どれも素晴らしい須恵器が焼き上がっていました。

読書フォーラム in おごおりが行われました



▲パパの読み聞かせを実演する安藤哲也さん

1月24日、生涯学習センターで読書フォーラム in おごおりが開かれ、安藤哲也さん（NPO 法人ファザーリングジャパン代表）が「絵本は楽しいコミュニケーションツール」をテーマに講演を行いました。

安藤さんは、「絵本は教育ツールというだけでなく、コミュニケーションツール。お父さんが絵本を読んであげると子どもも喜ぶし、お父さんも楽しくなる。お互いにとってかけがえのない時間になります。」と話されました。

講演終了後、実演が行われ多くの参加者が読み聞かせを体験しました。

「子どもたちのこころを育む活動」九州・沖縄ブロック大賞受賞



▲2月18日に平安市長に表敬訪問する団員の皆さん

2月13日、児童劇団つばさが全国から145団体の応募があった(財)バナソニック教育財団2009年度「子どもたちのこころを育む活動」の九州・沖縄ブロック大賞を受賞しました。

児童劇団つばさは、1988年の創設以来、年に一度の定期公演を入場無料で続けている他、老人福祉施設への慰問や地域の清掃活動など地域活動に積極的に参加するなど幅広い活動を行っています。

今回の受賞は、これらの活動が地域との交流を深めながら郷土愛を育む工夫のある活動と評価されたことによります。

平安正知市長は、「今回の受賞は24年間の活動が評価されたもので、大変すばらしいことです。これからも活動を続けて、心を育ててください。」と話しました。